



スパイウェア

私は普段、自宅でパソコンを使って銀行振り込みなどができる便利なインターネットバンキングを利用していますが、今日は久しぶりに銀行に行って通帳記入をしてみました。すると、覚えのない相手に相当額を振り込んだことになつていて、いつのまにか預金残高が減っていたのです。

届いたメールや添付画像を見たときに、勝手に「スパイウェア」というソフトがパソコンに入り込み、気がつかないうちにインターネットを通じて口座番号やパスワードなどの個人情報が盗まれることがあります。

スパイウェアとは、知らないうちに自分のパソコンに入り込んで、パソコン内に保存してあるID、パスワードなどの個人情報やキー操作の履歴などをインターネットを通じて盗んでしまう恐ろしいソフトです。

また、普通のコンピュータウイルスと違って入り込んでも表面的に何も変わらないため、スパイウェアが入り込んだことに気づかずインターネットバンキングなどを利用してしまい、個人情報が盗まれてしまうこともあります。

このような被害にあわないためには、銀行などの対応も大事ですが、自分自身で対策をとることが大切です。たとえば…

- 銀行名などでCD-ROMなどが送られてきた場合は、スパイウェアかもしれません。パソコンにセットする前に送付元に確認しましょう。

- 知らないところからのメールや画像などの添付ファイルは、むやみに開かないようにしましょう。

- 自分の銀行口座の残高等をこまめにチェックしましょう。

- インターネットカフェなどにある誰が使用したかわからないパソコンには、すでにスパイウェアが入り込んでいることが考えられるので、IDやパスワードなどの個人情報を入力しないようにしましょう。

- スパイウェア対策ソフトやウイルス対策ソフトは常に最新版に更新しておきましょう。

もし、自分のパソコンにスパイウェアが入り込んだと気づいたときは、直ちにインターネットに接続しているケーブルをはずし、駆除ソフトでスパイウェアを駆除しましょう。その後、被害がないか銀行などに確認し、パスワードを変更しましょう。

